

秩序の回復

シリーズ～チェンジ～

私が変わる・世界が変わる

2016/1/24

サラの冒険

- 夫の暴挙につきあい、旅に出たサラ
 - 「天の声」の言うとおりにすれば子どもが与えられると夫に言われ、サラもこの冒険に賭けた？
 - サラは65歳(前期高齢者)だった
- 一向に与えられない子ども
 - 二千kmを超える旅をして見ず知らずの土地に住み着いたが、子どもは与えられない
- 夫からのひどい仕打ち
 - 飢饉に襲われエジプトに逃げた時、夫は身を守るため自分を妹だと偽った

サラの失敗

- **サラは女奴隷ハガルを夫にあてがった**
 - カナンの地で10年間子どもが与えられなかった
 - サラは自分の責任を感じていた
- **ハガルは身ごもるとハガルを見下した**
 - 「自分が身ごもったのを知ると、彼女は女主人を軽んじた」創世記16:4
- **サラはアブラハムを責めハガルを追い出した**
 - 「わたしが不当な目に遭ったのは、あなたのせいです。」16:5 <責任転嫁
 - 「サライは彼女につらく当たったので、彼女はサライのもとから逃げた。」16:6

サラの疑い

- ハガル事件から15年後、主は使いを送り、息子の誕生を予告された
 - 「来年の今ごろ、…あなたの妻のサラに男の子が生まれているでしょう。」18:10
- サラはこの言葉を陰で聞き、笑った
 - 「サラはひそかに笑った。」18:12 <不信仰
- 主はサラを責め、再び約束された
 - 「主はアブラハムに言われた。『なぜサラは笑ったのか。なぜ年をとった自分に子供が生まれるはずがないと思ったのだ。主に不可能なことがあるだろうか。来年の今ごろ、…サラには必ず男の子が生まれている。』」18:13

サラの歡喜

- 翌年、主は約束通りアブラハムとサラに男の子を与えられた
 - 「主は、約束されたとおりのサラを顧み、さきに語られたとおりのサラのために行われた」
 - サラは90歳!になっていた
- 主はサラに笑いを与えられた
 - サラは言った。「神はわたしに笑いをお与えになった。聞く者は皆、わたしと笑い(イサク)を共にしてくれるでしょう。」21:6
 - 「神は私を笑われました。聞く者はみな、私に向かって笑うでしょう。」(新改訳)

サラの悲劇

- **せっかく与えられた息子を獻げよ(殺せ)との命令が神からアブラハムにくだった**
 - サラにも当然知らされたであろう
 - 聖書には何も書いていないが,アブラハムよりもサラの方が苦しかったのではないか?
- **サラはアブラハムとイサクを行かせた**
 - **彼女も夫と同じ信仰に立った**
 - アブラハムの帰りをどのような気持ちで待っただろうか
- **再びイサクを与えられたサラ**

サラのチェンジ

- **主なる神を信じる信仰**
 - 実際にイサクを生んだサラの方が確かな信仰を持ったのではないか
- **主なる神に対する理解**
 - サラの思いを知り,慰めてくださる神
- **夫に対する心構え**
 - 夫に心から従う
 - ハガル事件の頃のサラであったら,アブラハムとイサクを行かせただろうか?

見本となったサラ

「妻たちよ、自分の夫に従いなさい。夫が御言葉を信じない人であっても、妻の無言の行いによって信仰に導かれるようになるためです。…その昔、神に望みを託した聖なる婦人たちも、…自分の夫に従いました。たとえばサラは、アブラハムを主人と呼んで、彼に服従しました。あなたがたも、善を行い、また何事も恐れなければ、サラの娘となるのです」ペトロの手紙一3:1-4

回復された夫婦の秩序

- エデンの園で失われた夫婦の秩序
 - エバがアダムを誘い、主に背かせた
- 混乱した夫婦関係
 - ノアの洪水の前の時代(創世記6章)
- 主はアブラハムとサラとの間に子どもを与えなければならなかった(ハガルではダメ)
 - 召されたのは夫婦だった!
- サラがアブラハムに心から従うまで待っておられた
 - 「キリストが教会の頭であり、自らその体の救い主であるように、夫は妻の頭だからです。」エフェソ

笑いの源に

- サラは言った。「神はわたしに笑いをお与えになった。聞く者は皆、わたしと笑い(イサク)を共にしてくれるでしょう。」

• あなたはまわりの人をどんな顔にしているだろうか？

- 主から与えられる本物の喜び(笑い)に満たされよう！

- 「あなたはわたしの嘆きを踊りに変え／粗布を脱がせ、喜びを帯としてくださいました。」

詩編30:12